

## 平成25年度事務事業評価表（基本）

事務事業名	胃がん検診	重点評価 区分	重点	担当部	保健所
				担当課	健康推進課

## 基本情報

## 1 事務事業の概要

開始年度	昭和52年度	根拠法令	健康増進法・がん対策基本法
性質区分	健康診査・検診	実施形態	区単独（委託）
対象者	35歳以上の区民		
裁量区分	あり		
実施内容 （事務事業の実施 内容、手段、過去の 改善実績等）	<p>【概要】 胃がん検診を実施することにより、胃がんの早期発見・早期治療を促し、区民の健康維持と健康増進に資することを目的としている。</p> <p>【実施内容】 胃がん検診は国の指針に基づき死亡率の減少効果が確立している公共的な予防対策（対策型検診）として推奨されているバリウム飲用でのエックス線間接撮影により実施している。</p> <p>①35歳以上の区民対象 ②区広報紙・区ホームページ・はなしょうぶコール等で希望者を募集 ③費用は自己負担1,000円 ④検診事業者に委託をして、検診車により実施。 ⑤健診場所は保健所・金町は定員100名（検診車2台）小菅、新小岩、水元保健センターは50名（検診車1台）。 ⑥読影は医師会と検診委託業者で実施し、結果取りまとめ後、保健所から結果を受診者へ送付する。</p> <p>【改善実績】 ①はなしょうぶコールによる電話受付と電子申請の活用によりいつでも検診の申し込みをできる体制とした。 ②区民が目にする広報かつしかへの継続的な掲載や封筒等印刷物に受診勧奨のキャッチコピーを入れる等受診率向上のための周知啓発を図った。</p>		

## 2 施策及び事務事業目的

施策 番号	施策	0103	生活習慣病について知ること、区民自らが健康管理できるようにします
事務事業目的	胃がんり患者を早期に発見し、早期治療に結びつける。		

## 実績情報

## 1 成果指標の達成状況

成果指標	指標の根拠	単位	区分	22年度	23年度	24年度
受診率	受診者数÷対象人口	%	目標	2.52	3.02	3.52
			実績	1.67	1.36	1.59
精密検査受診率	精密検査受診者数（区が把握している受診者数） ÷要精密検査者数	%	目標	75.00	75.00	95.00
			実績	91.93	89.29	89.27

## 2 活動指標の達成状況

活動指標	指標の根拠	単位	区分	22年度	23年度	24年度
受診者数	—	人	目標	4,500	4,500	3,600
			実績	2,835	2,339	2,744
精密検査受診者数	区が把握している受診者数	人	目標	300	200	300
			実績	148	225	233
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

### 3 コスト内訳（決算）

項目		単位	24年度
収入	特定財源		
	国庫支出金	千円	0
	都道府県支出金	千円	77
	その他	千円	2,744
	一般財源 (a)	千円	21,401
支出	直接事業費 (b)	千円	19,327
	消耗品費	千円	22
	印刷製本費	千円	435
	通信運搬費	千円	440
	委託料	千円	18,430
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
		千円	
	職員人件費 (c)	千円	4,740
	人件費	千円	4,740
		人	0.60
	再雇用職員	千円	0
		人	0.00
	間接費 (d)	千円	155
調整額 (e)	千円	480	
減価償却費	千円	0	
金利	千円	0	
退職給与引当	千円	480	
(控) コスト対象外	千円	0	
トータルコスト (f) (b+c+d+e)		千円	24,702

### 4 単位あたりコスト

項目	単位	24年度
単位の定義		延べ受診者数
実績数値 (g)	人	2,744
単位あたり区単コスト (a/g)	円	7,799
単位あたりコスト (f/g)	円	9,002

## 平成25年度事務事業評価表（重点評価）

事務事業名	胃がん検診	担当部	保健所
		担当課	健康推進課

### 過年度の実績状況の評価と今後の方向性

実績状況の評価	<p>胃がん検診は、国の指針に基づき死亡率の減少効果が確立している公共的な予防対策（対策型検診）として推奨されている、バリウムでのエックス線間接撮影により実施している。</p> <p>受診率・受診者数については、平成23年度を除き、ほぼ横ばいであり、国のがん対策推進計画に定める当面の目標受診率（40%）には大きく及ばない。</p> <p>受診率低迷の要因としては、受診者の高齢化に加え、放射線被ばく、バリウムの誤嚥、腸閉そく等の偶発症、装置からの転落等への懸念等が少なからず影響していると考えられる。</p> <p>また、検査体制にも課題がある。（①区内医療機関で検査設備を備えているところが少なく処理能力に限りがあり、包括的に委託することができない。②業者による保健所・保健センターでの限られた日数での実施となる。③高齢化に伴い高齢者の誤嚥等の危険が増加する恐れがある。）</p>		
今後の方向性	改善	<p>平成18年のがん対策基本法が成立され、受診率向上の機運が高まっているにもかかわらず、胃がん検診受診率は全国的にも18年度～21年度：12.2%→11.8%→10.2%→10.1%と低迷したままであり、これは上記のような現行の胃がん検診（バリウム飲用×線検査）特有の事情が影響していることも考えられる。受診率の向上策として、幅広い年齢層への周知方法の検討、検査体制の数量的な拡大（受診回数の増加）などが考えられるが、それらが受診率向上に直結するかの判断は難しい。</p> <p>当区で比較的受診率向上の高い肺がん検診を参考に考えると、受診率向上のためには、「身体的負担が少ないこと」と「アクセスビリティを高めること」の両方を備える必要がある。よって、例えば、身体的負担が少ない検査で区の特定健診などと同時に受けられる方法等を検討し、区民自らが胃がんリスクを自覚し健康管理できる機会を提供するなどの改善策も視野に入れる必要がある。</p>	
	継続		

### 「今後の方向性」に基づく取組内容

#### 今後の成果指標の目標値

成果指標	指標の根拠・計算式など	単位	区分	25年度	26年度	27年度
			目標			
			目標			

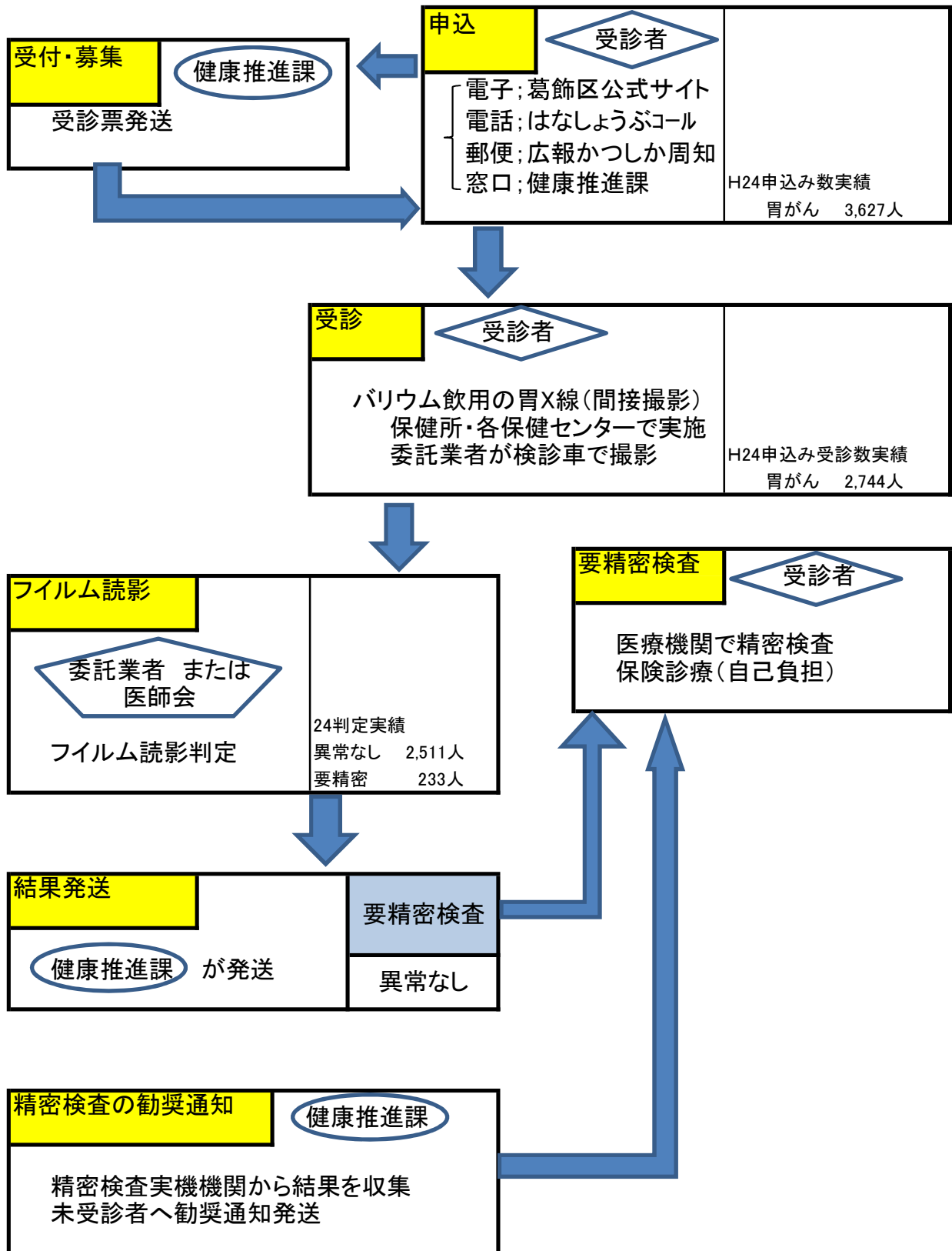
#### 2 今後の活動目標及び活動指標の目標値

活動目標	視点	活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度
				目標			
				目標			
				目標			
				目標			

行政評価委員会の意見や予算編成等の結果を踏まえ、年度末に記載し、区民に公表します。

このページは白紙です。

# 胃がん検診 流れ図



このページは白紙です。

# 胃がん(胃集団)検診のご案内

※大切な注意事項ですので、必ずお読みください。

## 自覚症状のある方へ

自覚症状がある方は、必ずしも病気とは限りませんが、その可能性は高く、ただちに治療が必要な場合もありますので専門の医療機関の受診をお勧めします。

## 1. 検診日時及び会場

別紙、胃がん検診問診票の右上をご覧ください。

車での来場はご遠慮ください。

受付順に検診となります。

**受付時間：9：00～10：30**

(建物内には、8時30分から入れます。)

## 2. 持参するもの

- (1) 胃がん検診問診票 (太枠内を正確に記入してください。)
- (2) 受診費用1,000円 (お釣りがないようご用意ください。)

## 3. 守っていただくこと (重要)

- (1) 検診前日の夜9時から、食事や水分もとらないで会場へお越しください。また、ガム、あめ玉、タバコも検査終了まで口に入れずにお越しください。
- (2) 検査前に飲食や喫煙をしている場合は、検査をお断りいたします。
- (3) 検診は症状がない健康な方を対象に行います。結果がお手元に届くまで1ヶ月程度かかります。身体に不調がある方は、医療機関を受診してください。
- (4) 検診当日の朝は、できるだけ排便をすませておいてください。
- (5) 検査前に食事や水分もとらない時間帯(夜9時から検査まで)があります。治療中の病気があり、その時間帯に薬を飲む必要のある方は、主治医にご相談するなどをしてご注意ください。

## 4. 服装について

バリウム検査は、素肌の上に検診衣を着て撮影します。短い時間に着脱できる服装でおいでください。金具のないご自分の下着等をつけたままでの受診も可能です。(アクセサリーや磁気パンソウコウは身につけないでください。)

## 5. 検査の方法

検診車で検査を行います。詳しい手順につきましては問診票の裏面をご覧ください。

## 6. 下剤の服用について

検査終了後、下剤2錠を多目の水でお飲みください。ただし、下痢になりやすい人、初めて下剤を飲まれる方は、まず1錠お飲みいただき、4～5時間経過しても便意がなければもう1錠お飲みください。

下剤の服用について心配な点がある方は、検査終了後、職員までお声をおかけください。

## 7. 結果のお知らせ

- (1) **約1ヶ月後に郵送する予定です。**
- (2) 胃がん(胃集団)検診では早期がんや小さいがんなどが発見できない場合があります。進行の早いがんもありますので、今回の検査で「異常なし」の判定があっても、胃痛などの自覚症状があれば医療機関を受診しましょう。
- (3) 検査の結果、精密検査が必要となる場合があります(保険診療・有料)。紹介状を発行しますので、精密検査実施医療機関へご相談ください。
- (4) 紹介状が送られてきた方は、なるべく早く精密検査を受診してください。

※ その他不明な点がありましたら、下記にお問い合わせください。

葛飾区保健所 健康推進課 (3602) 1268

★裏面の受診時の注意点も必ずお読みください。

～大切なお知らせです～

## 胃がん(胃集団)検診受診時の注意点について

検査には、バリウムと下剤を使用します。バリウムが人体に与える影響は比較的少ないと言われていますが、うまく排出されなかったり、気管に誤って入ってしまうと重い症状になることがあります。

以下の「検査できない方」と「注意が必要な方」の事項をよくお読みになってください。なお、「検査できない方」に該当する方は、お申し込みいただき申し訳ありませんが、安全上、区で行う胃がん(胃集団)検診は受けられませんので医療機関での受診をお勧めします。

### 検査できない方

- 前回受診した区で行う胃がん(胃集団)検診を受けてから、1年以内の方
- 過去にバリウム検査で、じんましん、呼吸困難、手足が冷たくなる、顔面蒼白などのアレルギー症状が出た方
- 過去にバリウム検査で、ひどい便秘(医療機関を受診するくらい)になった方
- 過去にバリウムが誤って、気管や肺に入ってしまったことのある方
- 寝返り等、指示に従って動くことができない方
- 腸閉塞、大腸憩室炎、腸ねん転の既往がある方
- 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎などの病気で治療中又は経過観察中の方
- 胃と腸に痛みなどの自覚症状のある方(医療機関での受診をお勧めします。)
- 消化器科や婦人科の手術を受けて1年以内の方
- 大腸ポリープの内視鏡的切除術を受けて3ヶ月以内の方
- 腎臓病、心臓病で水分制限を受けている方
- 慢性呼吸器疾患で常時酸素吸入をしている方
- 検査当日の朝に、インスリン注射や血糖降下剤を服用してしまった方
- 妊娠中、またはその可能性のある方

### 注意が必要な方

(安全上の理由から検査をお断りすることがあります。主治医にご相談ください。)

- 薬のアレルギーがある方
- 心臓に病気のある方
- 便秘薬を日常的に飲んでいる方
- 排便時によく出血をする方
- 検査台から転倒する危険が高い方

保健所・保健センターで検査を行う際、事故の状況によっては緊急に医療機関での処置が必要となります。事故が発生した際、保健所・保健センターでは応急処置しか行うことができません。そのため、事故の起きる危険性が高いと判断した方は、バリウム検査をお断りさせていただきますのであらかじめご了承ください。

**※ 検査に適当でない方は、会場にお越しいただいても検査できません。ご心配な点がある方は、検査の前日までに健康推進課へお問い合わせください。**

問い合わせ先;葛飾区保健所健康推進課 (3602)1268

★裏面のご案内も必ずお読みください。



～必ずお読みください～

## バリウムの副作用について

### 1 アレルギー症状

投与後に、まれにショックなどの重いアレルギー症状が起きることがあります。帰宅後に下記のような症状が起きた場合はすぐに医療機関を受診し、適切な処置を受けてください。

じんましん、気分が悪い、顔色が青白くなる、手足が冷たくなる、喉がつまる、息苦しい、息がしにくい など

### 2 バリウム腹膜炎

バリウムが腸内に長くとどまることにより、まれに消化管穿孔(穴が開いてしまう状態)や、腸閉塞が起こり、バリウム腹膜炎などの重い症状を引き起こすことが報告されています。高齢者の方の場合、さらに重い症状になることがありますので、検査後にできるだけ早くバリウムを排泄させるために、次の点に留意してください。

- (1) 検査後から(帰宅後も)できるだけ多くの水分をとってください。
- (2) 便意を感じなくても、定期的にトイレに行くよう心がけてください。
- (3) 検査後の数日間は、排便の状況を確認し、バリウム便が排泄されない場合や便秘、腹痛などの症状が続く場合は、すぐに医療機関を受診してください。
- (4) バリウムが排泄されず、長時間腸内に残っているとだんだん硬くなり、より排泄しにくくなります。

葛飾区保健所 健康推進課 (3602) 1268

◎検診で収集した個人情報、法に基づき適正に利用し、かつ厳重に保管いたします。

## 検診会場日程等のご案内

胃がん・大腸がん検診は、

検診日：問診票の右上に明記してある日です。

**受付時間：午前9：00～10：30**

会 場：問診票の右上に明記してあります。下記の会場です。

### 葛飾区保健所

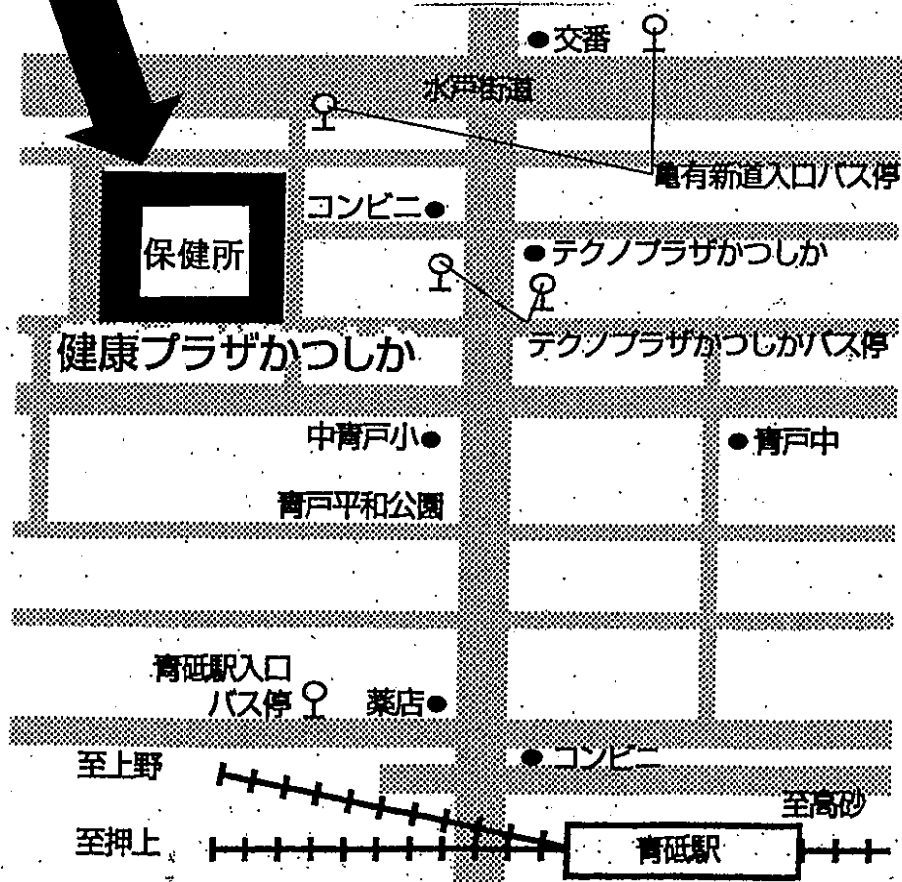
(健康プラザかつしか内)

#### 【交通】

青砥駅 徒歩15分  
京成バス テクノプラザかつしか下車  
都営バス 亀有新道入口下車

葛飾区保健所は平成23年7月19日に移転しました。

住所 葛飾区青戸4-15-14



裏面も必ずお読みください

平成23年度 がん検診受診状況

	胃がん				肺がん (胸部エックス線検査)				大腸がん			
	対象者数	受診者数	受診率(%)	受診率順位	対象者数	受診者数	受診率(%)	受診率順位	対象者数	受診者数	受診率(%)	受診率順位
全国	41,317,408	3,809,890	9.2	—	41,610,612	7,087,151	17.0	—	42,446,412	7,649,103	18.0	—
東京都	4,979,919	250,551	5.0	—	5,107,282	351,838	6.9	—	5,276,138	851,942	16.1	—
東京都区部	3,320,646	178,241	5.4	—	3,391,880	272,434	8.0	—	3,549,918	580,762	16.4	—
葛飾区	149,632	2,172	1.5	20	164,719	68,269	41.4	1	163,976	25,769	15.7	14

11

	乳がん (視触診方式及びマンモグラフィ)						子宮がん (頸部)					
	対象者数 a	受診者数			受診率(%) (b+c+d)/a × 100	受診率順位	対象者数 a	受診者数			受診率(%) (b+c+d)/a × 100	受診率順位
		当該年度 b	前年度 c	2年連続 d				当該年度 b	前年度 c	2年連続 d		
全国	25,535,265	2,523,008	2,541,993	400,863	18.3	—	33,641,302	4,516,207	4,666,826	1,168,082	23.9	—
東京都	2,879,401	241,005	235,762	13,912	16.1	—	4,032,217	389,557	402,384	47,618	18.5	—
東京都区部	1,910,366	166,340	160,901	11,056	16.6	—	2,698,853	278,662	287,162	27,846	15.0	—
葛飾区	91,297	5,281	5,062	—	11.3	21	115,571	14,271	14,622	6,169	19.7	13

出展：平成23年度地域保健・健康増進事業報告

(注)上記の数値は、国の指針による対象年齢(40歳以上、子宮がんのみ20歳以上)を基準に算出している。

このページは白紙です。

## 平成24年度事務事業評価表（基本）

事務事業名	胃がん検診	重点評価 区分	—	担当部	保健所
				担当課	健康推進課

## 基本情報

## 1 事務事業の概要

開始年度	昭和52年度	根拠法令	健康増進法・がん対策基本法
性質区分	健康診査・検診	実施形態	区単独（委託）
対象者	35歳以上の区民		
裁量区分	あり		
実施内容 （事務事業の実施 内容、手段、過去 の改善実績等）	<p>【概要】 胃がん検診を実施することにより、胃がんの早期発見・早期治療を促し、区民の健康維持と健康増進に資することを目的としている。</p> <p>【実施内容】 ①35歳以上の区民対象に区広報紙・区ホームページ・はなしょうぶコール等で希望者を募集（公募・有料1,000円）し、検診事業者に委託をして、検診車により実施。保健所・金町は定員100名（検診車2台）小菅、新小岩、水元保健センターは50名（検診車1台）。読影は医師会と検診委託業者で実施し、結果取りまとめ後、保健所から結果を受診者へ送付する。 ②区内指定医療機関に委託実施している特定健診の受診時に、40・50・60歳で希望がある場合に萎縮性胃炎検査（有料500円）を実施し、その結果により陰性となった者にも公募胃がん検診受診を勧奨することで受診者を増やす。</p>		

## 2 施策及び事務事業意図

施策	名称	健康診査・検診
	意図	定期的な健康診査・検診により、区民の疾病の早期発見ができています。
事務事業意図	胃がんり患者が早期に発見され、早期治療に結びついている。	

## 実績情報

## 1 成果指標の達成状況

成果指標	指標の根拠	単位	区分	21年度	22年度	23年度
受診率（公募×線）	受診者数÷対象人口	%	目標	2.02	2.52	3.02
			実績	1.52	1.67	1.36
精密検査受診率（公募×線）	精密検査受診者数（区が把握している受診者数）÷要精密検査者数	%	目標	75.00	75.00	75.00
			実績	87.83	91.93	89.29

## 2 活動指標の達成状況

活動指標	指標の根拠	単位	区分	21年度	22年度	23年度
受診者数（公募×線）	—	人	目標	3,500	4,500	4,500
			実績	2,660	2,835	2,339
精密検査受診者数（公募×線）	区が把握している受診者数	人	目標	—	300	200
			実績	231	148	225
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

3 コスト内訳（決算）

項目		単位	21年度	22年度	23年度
収入	特定財源				
	国庫支出金	千円	0	0	0
	都道府県支出金	千円	100	17	66
	その他	千円	2,660	2,835	3,060
	一般財源 (a)	千円	21,790	20,814	20,313
支出	直接事業費 (b)	千円	19,390	18,782	17,700
	消耗品費	千円	23	20	0
	印刷製本費	千円	373	420	454
	通信運搬費	千円	487	459	388
	委託料	千円	18,507	17,883	16,858
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
	職員人件費 (c)	千円	5,160	4,860	5,600
	人件費	千円	5,160	4,860	5,600
		人	0.80	0.60	0.70
	再雇用職員	千円	0	0	0
		人	0.00	0.00	0.00
	間接費 (d)	千円	0	24	139
	調整額 (e)	千円	350	540	630
	減価償却費	千円	0	0	0
金利	千円	0	0	0	
退職給与引当	千円	350	540	630	
(控) コスト対象外	千円	0	0	0	
トータルコスト (f) (b+c+d+e)		千円	24,900	24,206	24,069

4 単位あたりコスト

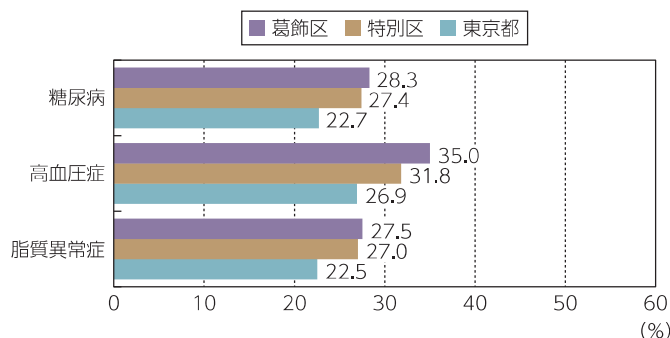
項目	単位	21年度	22年度	23年度
単位の定義		延べ受診者数		
実績数値 (g)	人	2,660	2,835	2,339
単位あたり区単コスト (a/g)	円	8,192	7,342	8,684
単位あたりコスト (f/g)	円	9,361	8,538	10,290

## 施策 03 生活習慣病について知ること、区民自らが健康管理できるようにします

### 【施策を取り巻く現状と課題】

- 人口の高齢化や社会生活環境の急激な変化等に伴い、糖尿病、がん、心臓病、脳卒中等に代表される生活習慣病の増加が大きな問題となっています。
- 平成23年度の特定健康診査の結果によると、本区は東京都や特別区の平均と比べて、40歳～74歳の生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）の有病率や、40歳～50歳代男性のメタボリックシンドローム<sup>注</sup>の予備群や該当者の割合がやや高い傾向にあります。
- 葛飾区保健医療実態調査（平成20年）によると、喫煙をしている区民の割合は、男性は36.2%、女性は16.1%です。
- 政策・施策マーケティング調査によると、健康診断や人間ドックを定期的に受診している区民の割合は、平成23年度で約7割です。
- 区民の死亡原因の約3分の1はがんによるものです。がんは早期に発見し、早期に治療すれば、治る確率は高くなります。区が行うがん検診の受診率は、ここ数年、大腸がん検診を中心に上向きの傾向にありますが、大幅な向上には至っていません。
- 生活習慣病である歯周病は、年齢とともに有病率が高くなっています。生涯を通じて歯と口腔の健康を維持し豊かな食生活を営むためには、歯周病を予防し、歯の喪失を防ぐことが重要です。

生活習慣病の有病率（40歳～74歳）



出典：東京都国民健康保険団体連合会  
特定健康診査結果（平成23年度）

注) メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満を共通要因として、高血糖、脂質異常、高血圧が引き起こされる状態のこと。

**【施策の方向】**

- 生活習慣病を予防するには、食生活や喫煙、運動習慣等の生活習慣を改善することが重要であるため、区民が生活習慣病に関する正しい知識や予防意識を持てるよう、普及啓発を行います。
- 代表的な生活習慣病である糖尿病について、発症や合併症の進行を予防するための総合的な対策を行います。
- 区民が自ら健康管理ができるように、健康診査の機会を確保し、受診率の向上を図ります。
- がんによる早世を予防し、生涯にわたって生活の質を維持向上させるために、がん検診をより区民が利用しやすい方法で実施することなどにより、受診率の向上を図り、がんの早期発見・早期治療につなげます。



成人歯科健康診査（イメージ）

**【指標と目標値】**

指 標	指標の説明又は出典	現 状 値 (平成23年度)	平成27年度	平成30年度	平成34年度
健康診断や人間ドックなどを年に1回は受診している区民の割合 (%)	政策・施策マーケティング調査	69.9	71.1	72.0	73.2
がん75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)	年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率	92.4	85.0	79.5	72.1
循環器系疾患75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)	年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率	51.7	47.6	44.5	40.3

**【区民の役割】**

- 食生活や喫煙・飲酒状況、運動習慣等を振り返り、メタボリックシンドロームや生活習慣病の予防や改善に向けて、継続的な取り組みを行いましょ。また、必要に応じて肥満度や血圧等を測定するとともに、健康診査を定期的受診することで、自らの健康状態を確認し、病気の早期発見につなげましょ。



**【事業者の役割】**

□ 企業・団体は、従業員の健康診査や保健指導等を行い、健康管理に努めましょう。飲食店等は、禁煙・分煙を進め、利用者の健康を守りましょう。

**【計画事業】**

事業名	事業内容
〈新〉 長寿歯科健康診査	40歳から70歳まで5歳刻みで行っている成人歯科健康診査につなげる形で、75歳の高齢者を対象に歯科健診と口腔機能のチェックを行い、歯と口腔の健康づくりを進めます。また、対象年齢の拡大を検討します。
〈新〉 「かつしか糖尿病アクションプラン」の推進	区内医療関係者の糖尿病医療の標準化や連携体制の強化が図られるよう支援します。また、リーフレットの作成・配布やイベント等の展開により、区民に糖尿病についての正しい情報を分かりやすく提供し糖尿病予防の啓発を行うとともに、未受診や治療の中断を防止するためのフォローアップ体制を構築することにより、合併症を早期に発見し進行を予防します。

**〈事業一覧〉（平成24年度実施）**

一般健康相談事業	胃がん検診
健康手帳	子宮がん検診・子宮頸がん予防ワクチン接種
生活習慣病予防教室	肺がん検診
20歳代・30歳代健康診査	乳がん検診
母親健康診査	大腸がん検診
骨粗しょう症検診	前立腺がん検診
葛飾区基本健康診査	がん検診PR事業
特定健康診査追加検査	【再掲】特定健康診査・特定保健指導事業（→政策2施策03）
成人歯科健康診査事業	【再掲】健康診査事業（後期高齢者医療事業）（→政策2施策03）
眼科健康診査事業	